



浮金小だより



発行：平成31年3月22日（金）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

本日、平成30年度卒業証書授与式を本校体育館で行いました。6名の卒業生と1年生から5年生までの32名の修了生は、とても立派な態度で式に臨むことができました。式中「はげましの言葉」として校長が一年間を振り返り、子どもたちにお話をしましたので、今回はその全文を掲載し学校だよりといたします。

今年度一年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。



卒業
おめでとう

～校長「はげましの言葉」～

桜のつぼみもふっくらと、にわかに春色の深まりを感じる今日この頃、本日は、お忙しい中、たくさんの御来賓の皆様においでいただき、平成30年度小野町立浮金小学校の卒業証書授与式ができますこと、心より感謝申し上げます。

6名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、1年生から5年生までの32名の皆さん、それぞれの学年の修了おめでとうございます。今、1年を振り返ってみると、皆さんは生き生きと輝き続けていたなと思います。

第1学期の始業式で、校長先生はこんな言葉を皆さんに投げかけました。

校長先生をはじめ先生方は、こうなさい、あしなさいという指示する言葉がなくても、進んで行動しようとする、皆さんの『気づき・考え・実行する』姿をたくさん見たいなと思います。頑張りましょう。



それでは、頑張ったことを、いくつか一緒に振り返ってみましょう。

5月の運動会。朝まで雨模様で心配されましたが、皆さんのこれでもかという大きな声での紅白応援歌もあり、青空の下で元気いっぱい演技することができました。高学年の三輪車の走りっぷりもなかなかのものでした。ヨサコイや鼓笛パレードでは、全校生の一体感を感じることができました。

6月の高柴山遠足。往復約8キロの道のりを全員が歩き通す粘り強さを見せてくれました。互いに声を掛け、荷物を持ってあげたり、手を取り合ったりなど、助け合う優しい姿がたくさん見られました。

10月の町小中学校音楽祭。38名の演奏や歌声がばらばらだった練習スタート時の音楽が、音楽祭には見事に一つにまとまり、浮っ子らしい素敵なハーモニーを披露することができました。

2月の縄跳び記録会。4つの縦割り班に分かれ、長縄8の字跳びで競いました。皆さんの取組は素晴らしいものでした。昼休みに班ごとに猛練習をし、本番ではどの班も目標回数を超えることができました。それ以上に嬉しかったのは、班ごとに決めためあて「あきらめずに」「心を一つにして」「チームワークを大事に」などが十分に達成できているのが見えたことです。跳べるよう教え合いがあり、失敗を責めることなく励まし続ける楽しい環境ができていました。

他にも、水泳記録会、マラソン記録会、学習発表会など、様々な行事の中で、皆さんの生き生きと輝く姿がたくさん見られました。よく頑張りました。

そして、これらの活動の中心となって、ぐいぐいと引っ張ってきたのが、正面にいる6名の卒業生の皆さんです。浮金小学校にとって、皆さん一人一人がとても頼りになる存在でした。これまでの伝統を引き継ぐとともに、自分たちらしさもどんどん出し、全校生皆が「学校は楽しい」と答える浮金小学校を築きあげてくれました。

在校生の皆さん。このように素敵な6名の卒業生に感謝しましょうね。そして、残して下さった浮金小学校の伝統や校風をつなぎ、さらに新しい浮金小学校をつくっていきましょう。

ここで、校長先生から卒業生一人一人に、この一年で印象に残っていることを一部分ですが伝えます。

NMさん。町水泳記録会のことです。女子4×25mリレーでは、人一倍大きな声で仲間を応援していました。Mさんは水泳に自信をもっており新記録も出すほどです。陸上大会でも見事な記録と成績を出しました。でもそれだけではなく、必死に応援する姿からも分かるように、チーム・仲間を大事にする心を合わせもっています。それが、校長先生は嬉しかったのです。心技体が整った素晴らしいリーダーでした。



MHくん。宿泊活動での別れの集い前のことです。集いの会場となるオリエンテーションホールが汚れていることに気づき、Hくんは、すぐに動き出しました。モップを探しだして、教室3つ分ぐらいはあるオリエンテーションホールをきれいにしてくれました。学校でも、いろいろな場面で『気づき、考え、実行する』姿を見せてくれました。また、必ず「一緒にやろう」と周りに声をかけ、実行する輪を広げてくれました。ありがとう。

NKくん。意識しているかわかりませんが、浮金小で、「ありがとうございます」が一番多く言っているのは、Kくんです。校長先生が黒板をきれいにするのを手伝った時、ゆるんでいた廊下の水道の蛇口をきちっと閉めた時、それをたまたま見ていたKくんは、「校長先生、ありがとうございます。」と言ってくれましたよね。校長先生がしたことはちょっとしたことですが、それに気づき、そしてありがたさを感じ取り、感謝の気持ちを表現できることは、人として素晴らしいなと思います。



NRくん。陸上大会の走り高跳びで優勝したり、学習発表会ではセンターで見事なダンスを披露したりと、強さとすごさを見せてくれました。それだけではなく、とても優しい男の子だなと感心もしていました。それは、3年生のTくんが登校班にちょっとだけ遅れて来ることがあったのですが、「今日はどうして遅れたのかな。」「もう少し早く起きるといいね。」と、いつも笑顔で優しく接していましたよね。面倒見のよい頼りになるお兄さんでした。



IMさん。町の陸上記録会のことです。Mさんは女子800m走に出場しNMさんを含め3人での勝負となりました。先頭を走るNMさんを抜くんじゃないかと、すごい粘りで走る姿がそこにありました。結果は2位でしたが、その時の勝負にこだわる必死な姿が忘れられません。普段はとても穏やかで優しいMさんですが、あの時は、校長先生も驚いたんです。こつこつと努力するMさんだからこそ、内に秘めた強さがあるんだなと思いました。



HNくん。浮金小で一番清掃が上手なのはNくんです。感心するのは、ごまかしがないことです。一人で担当する手洗い場の清掃も完璧でした。短い清掃時間の中で無駄なく取り組み、次々ときれいにしていきます。また、大きな行事がある度に、高学年の皆さんには会場の準備や後片付けをお願いしていましたが、Nくんは一番動いてくれました。人が嫌がりそうなところで黙々と取り組むNくんの姿は、とても頼もしかったです。



それでは、卒業生の皆さんへ、校長先生から最後のエールを送ります。

中学校では、伝統を引き継ぎながらも、自分たちで新たな小野中学校をつくっていくんだという気概をもちなさい。今ある浮金小学校を築いてくれた皆さんなら大丈夫です。一人一人の良さを発揮すれば、多くの仲間ができ充実した中学校生活になるはずですよ。期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業誠におめでとうございませす。子どもたちは、ご覧のように立派に成長されました。これもひとえに、ご家庭での深い愛情の賜であると考えております。また、保護者の皆様をはじめ、PTAの皆様、見守り隊の皆様、地域の皆様には、これまで様々なご協力をいただきました。お陰様で、充実した学校生活を子どもたちに提供することができました。教職員一同を代表し厚く御礼申し上げます。

以上で、新しい門出をお祝いして、私からの「はげましの言葉」とさせていただきます。本日はご卒業、そして、それぞれの学年の修了、誠におめでとうございませす。

平成31年3月22日

小野町立浮金小学校長 松崎 健一

一年間、ご協力いただき、本当にありがとうございました。